

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公開番号】特開 2019-162351 (P2019-162351A)
 【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-039
 【出願番号】特願 2018-52858 (P2018-52858)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気配線を案内可能な案内経路の少なくとも一部に前記電気配線が通過可能に構成される開放部を有する複数の構成手段と、前記複数の構成手段から前記開放部側へ張り出す複数の張出部とを備え、

前記電気配線は、前記構成手段に対して相対移動可能に構成される移動手段に接続され

、
前記複数の構成手段は、それぞれが前記電気配線と接触し得るよう構成され、
前記張出部は、互いに間隔を空けて配置され、
前記構成手段は、樹脂材料から構成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

電気配線を備える遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 2 - 1 5 7 4 7 4 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、電気配線の配置の観点で改善の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、電気配線の配置を改善することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、電気配線を案内可能な案内経路の少なくとも一部に前記電気配線が通過可能に構成される開放部を有する複数の構成手段と、前記複数の構成手段から前記開放部側へ張り出す複数の張出部とを備え、前記電気配線は、前記構成手段に対して相対移動可能に構成される移動手段に接続され、前記複数の構成手段は、それぞれが前記電気配線と接触し得るよう構成され、前記張出部は、互いに間隔を空けて配置され、前記構成手段は、樹脂材料から構成される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、電気配線の配置を改善することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1035】

遊技機 A1 から A7、B1 から B10、C1 から C8、D1 から D8、E1 から E6、F1 から F8、G1 から G8 及び H1 から H7 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチン

コ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機K3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

遊技盤の正面側に張り出して配設される張出配設部を備える遊技機がある（特許文献1：特開2006-333887号公報）。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、演出効果が低くなり易いという問題点があった。本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、演出効果を高くすることができる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想1の遊技機は、第1方向視で視認可能に構成され、遊技球が通過可能に構成される所定領域と、前記第1方向視における前記所定領域の視認態様を変化させる所定手段とを備える。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1記載の遊技機において、正面側に遊技球を流下可能に構成される遊技盤を備え、前記遊技盤は、前記所定領域の少なくとも一部と重なるように開口形成される開口を備える。

技術的思想3の遊技機は、技術的思想2記載の遊技機において、前記所定手段は、遊技球の転動面を構成する。

<効果>

技術的思想1記載の遊技機によれば、演出効果を高くすることができる。

技術的思想2記載の遊技機によれば、技術的思想1記載の遊技機の奏する効果に加え、開口により、演出効果の向上を図ることができる。

技術的思想3記載の遊技機によれば、技術的思想2記載の遊技機の奏する効果に加え、遊技球を利用した演出効果の向上を図ることができる。